

作業種別	作業名
環境整備	基本清掃

目的	基本清掃は休憩施設内の便器・洗面台等の水回り・床回り・壁・天井・照明器具・ドア・窓ガラス等の清掃手順を示すものであり、本手順書は基本清掃を適切かつ安全に行い、お客様に安全・安心・快適で良好な環境と雰囲気を提供することを目的とする。
人員	2人以上

項目	作業手順	注意事項
1.準備	1. 装備 ① マスク着用 ② ゴム手袋着用 2. 便器・床回り等で使用する電解水を配合し準備する アルカリ性と酸性は1：1（原則）で配合する 3. ウェス・スポンジ・洗剤・水切り・モップ・ブラシ等 必要な道具が揃っているか確認する 4. 清掃エリアを仕切る ※ 河合PAは清掃エリアを仕切って清掃はできない 5. 清掃中の看板を清掃エリアにたてる 6. 音ナビの看板をたて再生する ※ 音ナビは清掃中であること、お客様への注意喚起等 5ヶ国語の音声で周知するもの	① 清掃時は感染症予防のため必ずマスクを着用する ② アルカリ水及び酸性水が目に入った場合は直ちに多量の水で流し、医師の診断を受けること ③ ウェスは使用場所・用途によって使い分ける（ウェスは色によって使い分けしている） ③ スポンジ・ブラシ類は研磨剤の入ったものは使用しない（便器のコーティングが剥がれ汚れがつき易くなる） ④ お客様で混雑している時は、お客様のご迷惑とならないよう清掃の時間を見直す

項目	作業手順	注意事項
2. 便器清掃	1. 小便器の清掃 ① 汚れの度合いをチェック ② 便器全体に電解水の混合水を散布する ③ 便器内はスポンジや柔らかいブラシで清掃し 目皿部は目皿を外し小ブラシで清掃する 清掃後は洗浄水で洗い流す ※ 尿石などひどい汚れのある場合は酸性洗剤を使用する ④ 便器下面をブラシで清掃する ⑤ 便器の外側を混合水で清拭清掃する ⑥ 汚れ・拭き残しがないか確認する <小便器の汚れやすいポイント> ・ 小便器のリム部（とびはねた尿が尿石を作る） ・ 前面下部（垂れこぼしの尿で汚れやすい） ・ ボルトキャップ部 ・ トラップ部（尿石がしやすい） ・ 床面（跳ね返り・垂れこぼしの尿で汚れやすい） ・ 上部（洗浄水がかからないため尿石がしやすい） ・ 下部・側面（垂れこぼしの尿で汚れやすい） 2. 洋式大便器の清掃 ① 汚れの度合いをチェック ② 便器全体に電解水の混合水を散布する ③ 便器内をスポンジや柔らかいブラシで清掃し トラップ部・水面の境目は入念に清掃する （黒ずみ等がしやすい） ④ 便器の固定ボルトを小ブラシで清掃する ⑤ 床と便器の接地面をブラシで清掃する ⑥ 便器内側を小ブラシで清掃する 汚れのチェックは手鏡等を使用すると確認しやすい ⑦ 便器の外側・便座を混合水で清拭清掃する ⑧ 汚れ・拭き残しがないか確認する <洋式大便器の汚れやすいポイント> ・ 便器のリム部（垂れこぼしの尿で汚れやすい） ・ リム裏部（とびはねた尿が尿石を作る） ・ トラップ部（汚物が固着し汚れやすい） ・ 床面接合部（接合部の隙間に汚れが溜まりやすい） ・ 便器接合部（接合部の隙間に汚れが溜まりやすい）	② センサーをウエスなどで隠し、散布した混合水が洗浄水で流されないようにし作業する

項目	作業手順	注意事項
	3. 温水洗浄便座の清掃 ① ノズルを引き出す ・ノズルそうじボタンを押す ・ボタンの無い場合は指で引き出す ② ノズルの清掃 柔らかいスポンジで拭き取るか、小さめのブラシで擦り、汚れを落とす ※ 汚れが落ちない場合は電解水の混合水を使用する ③ ノズルを元に戻す ・ノズルのそうじボタンを押す ・ノズルのそうじボタンを押す指で引き出した場合指を離すと戻る ④ 便器と便座の隙間の清掃 ・便器と便座の隙間を小ブラシを使用し清掃する (電解水の混合水を使用すると除菌・消臭効果あり) ※ 便座は取り外しが出来ないものが多く、小ブラシを使用しての清掃になるが、定期的に便座を取り外し小ブラシの入らない箇所の清掃を行う 4. 和式大便器の清掃 ① 汚れの度合いをチェック ② 便器全体に電解水の混合水を散布する 便器と床の境目には入念に散布する ③ 便器内の清掃 便器内をスポンジや柔らかいブラシで清掃し トラップ部・水面の境目は入念に清掃する (黒ずみ等がしやすい) ④ 便器と床の境目の清掃 小ブラシを使用し擦り清掃する ⑤ 洗浄水を流しすぎ洗いする ⑥ 便器の外側・便座を混合水で清拭清掃する ⑦ 汚れ・拭き残しがないか確認する <和式大便器の汚れやすいポイント> ・ リム部・金隠し裏側 ・ トラップ部 ・ 水面との境目 ・ 床面・便器と床の境目	

項目	作業手順	注意事項
3.床清掃	1. ゴム床タイル・磁器床タイルの清掃 ① モップ又は掃除機でゴム床タイル表面のホコリ及びごみを除去する ② 電解水混合水の散布 ポンプ式スプレー等で電解水混合水を床面全体に散布する ③ 仕上げ拭き上げ 乾いたモップで床面を拭き上げる 2. 床排水溝の清掃 ① 排水溝のごみ・ホコリとり 床排水溝のフタをとり掃除機でごみ・ホコリを除去する ② 床排水溝の清掃 床排水溝を水道水を流しながらブラシで清掃する 排水溝は小ブラシを使用し、汚れのひどい場合は専用洗剤を使用する ③ 床排水溝のフタの清掃 鋼製のフタの裏面をブラシで清掃する ④ すすぎ清掃 ブラシで擦り清掃が終了したら、水道水で洗い流す 臭いが気になる場合は、電解水の混合水を散布する ⑤ 飛び水の処理 床排水溝のフタを戻し、飛び水をスクイージーで水切りする 水切り後、乾いたモップで拭き取りを行う 3. 床排水口の清掃 ① 床排水口のフタを外しトラップ碗をとる トラップ碗をとると下水臭がしたり、虫が侵入するため、濡れタオルで蓋をする ② トラップ碗・フタをブラシで洗浄する ③ 床排水口の中をブラシで擦り清掃し汚れを除去する 除去後水道水を流しすすぎ洗いのする ④ トラップ碗・フタを戻し電解水の混合水を入れる ⑤ 飛び水を乾いたタオルで拭き上げる	③ 拭き残しにより水分が残っていると、床面が滑り危険なため、拭き残しのない様に作業し作業後、拭き残しがないか目視確認する ⑤ 拭き残しにより水分が残っていると、床面が滑り危険なため、拭き残しのない様に作業し作業後、拭き残しがないか目視確認する

項目	作業手順	注意事項
4. 洗面所清掃	1. 洗面所清掃 ① 水栓周りの清掃 電解水の混合水を全体に散布し、小ブラシ・歯ブラシで擦り清掃する ② オーバーフロー口の清掃 歯ブラシにて擦り清掃する ③ 排水口周りの清掃 排水口接合部には水垢・毛髪等が溜まりやすいため、入念に清掃を行う ④ 水栓金具の清掃 タオルで水栓金具を磨き、汚れが落ちない場合は、金属磨きクリーナーを使用する ⑤ 鉢面部をスポンジで清掃する 水垢が目立つ時は水垢クリーナーを使用する ⑥ 洗面器上部・側面・下部の拭き上げ 電解水混合水をタオルに吹きかけ、各部の拭き上げを行う <洗面所の汚れやすいポイント> ・ 水栓周り接合部 ・ オーバーフロー部 ・ 排水口周辺 ・ 洗面器下部 ・ 排水管部 2. 手指乾燥機（エアータオル）の清掃 ① 手指乾燥機の電源を切る ② 水受け部へ電解水混合水を散布する ③ スポンジ等で汚れを拭き取る ④ フィルターの手入れ 混合水を吹きかけたタオルで汚れを拭き取る 汚れがひどい場合は水洗いし十分に乾燥させる ⑤ 水受けトレイの手入れ トレイを引き出し溜まった水を捨て、柔らかいスポンジを使用して水道水で洗浄する ⑥ 本体の拭き上げ タオルに電解水混合水吹きかけ、本体の拭き上げを行う ⑦ 電源を入れ、稼働確認を行う	

項目	作業手順	注意事項
5. その他	1. ドアノブ・手摺り・鏡の清掃 ① タオルに電解水混合水を吹きかけ拭き上げる ② 拭き残し。拭きムラがないか 2. 棚・壁・天井の清掃 ① 棚・壁はタオルに電解水混合水を吹きかけ拭き上げる ② 天井など高い所は専用ブラシで清掃する また、脚立等が必要な場合は別途作業班により清掃すること 3. 社有車による回送について ①社有車による回送は、交通法規を遵守し、安全運転を心掛けるものとする。 ②エンジンを始動させる前に車の周囲確認を行う。 ③車両の後退が必要な場合は2人で行い、運転手と誘導の役割を決める。運転手と誘導の合図を確認し、誘導に従い車両を後退させる。 ④休憩施設内の順路を逆走しないように注意する。	